Vagrant 勉強会

2015 11/14, 12/13

Present by Koji Yamaoka

初期ファイル等

https://github.com/kozyszoo/TK_study

勉強会の目標

- 仮想マシンの構築を体験し、サーバーサイドの基礎処理を学ぶ
- アプリケーションをさらに実用的に動かすための知識を身につける

そのための第一歩を踏み出すことを勉強会の目標とする

注意事項

今回は、ローカルPC内に仮想的に Web サーバ を構築します。

実際に <u>インターネット上に公開させたい場合</u> は AWS, cloud nなどの<u>ホスティングサービス</u>を 利用する必要があるのでご注意ください。

これらに関しては有料の場合が多いですが、期間限定で無料という場合もあります(これについては後で詳しく説明します)

それでは講義の方に入っていきましょう

今日やること(1)

仮想サーバを構築しよう

Sinatra でサーバサイドプログラミング

iPhone アプリと連携しよう

今日やること(2)



今日やること(3)



目次

仮想サーバを構築しよう

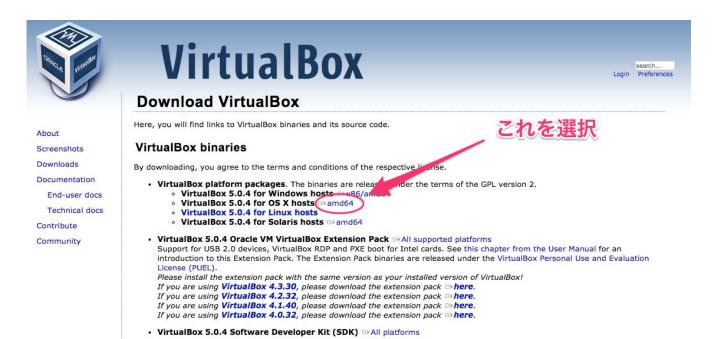
Sinatra でサーバサイドプログラミング

iPhone アプリと連携しよう

VirtualBox をインストールしよう

https://www.virtualbox.org/wiki/Downloads

(今回は USB 経由でファイルを渡します)



VirtualBox とは

VirtualBox とは仮想マシン(PC内に作成できるミニPC のようなもの)を立ち上げるための Oracle 社製のアプリケーションのことです。 今回はVirtualBox を用いて(仮想)サーバを作成します。



サーバとは何か

外部から要求があった時に、その要求に対する返答を行うコンピュータ

データなどを Serve (提供) する専用のコンピュータ



仮想サーバとは何か

外部から要求があった時に、その要求に対する返答を行うコンピュータ

データなどを Serve (提供) する専用のコンピュータ

今回はそんなサーバを PC内にミニPCとして作成する、それが仮想サーバ



Vagrant をインストールしよう

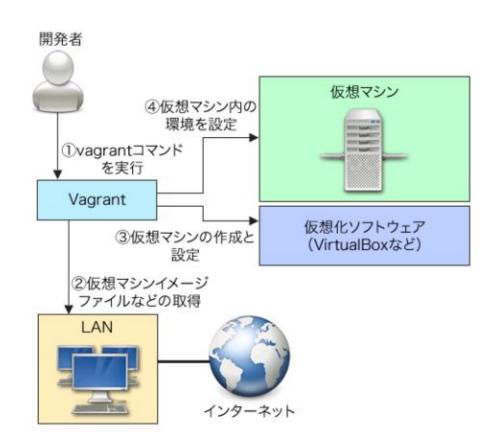
<u>https://www.vagrantup.com/downloads.html</u> (今回は USB 経由でもファイルを渡します)



Vagrant とは

Vagrant とは仮想マシン(ミニPC) を立ち上げる上で、 設定ファイルに記述した通りの設定で自 動的に仮想マシンを立ち上げさせるアプ リケーションのことである。





https://osdn. jp/magazine/15/02/13/200000

今回は Vagrant で CentOS を立ち上げます



CentOS とは?

CentOS とは Linux に分類される 無料で使える OS (オペレーションシステム) のことです。

他の OS には有料ではあるが

- Windows 8, Windows 10
- (Mac) OSX

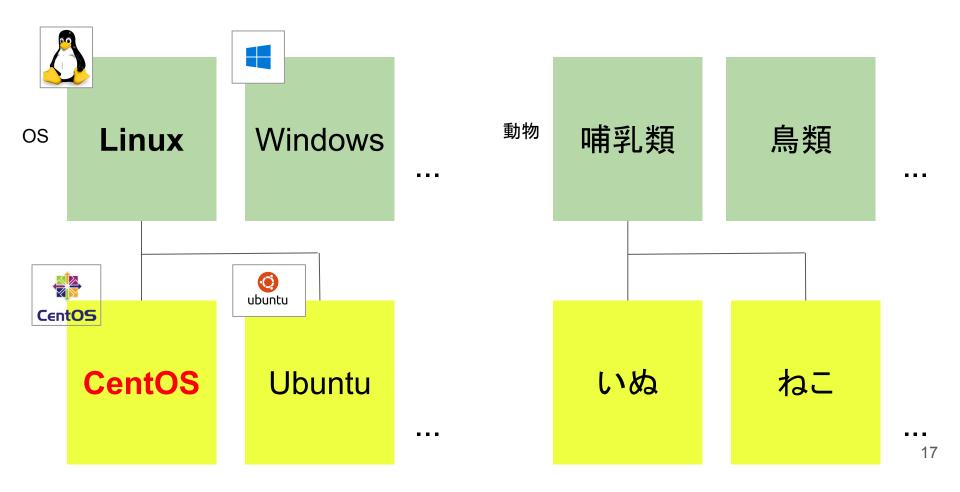
などが存在する。



OS とは<u>コンピュータを扱うための大きなくくりでのソフトウェア</u>である。 この中でも CentOS は無料で扱え、古くから使われており 安定性が高く、数ある Linux の OS の中でも特に一般的な OS である。

CentOS の位置づけ

Linux 系に分類される OS(オペレーションシステム) 様々な団体によって Linux 系の OS は開発・サポートされている



仮想サーバの構築を始めよう

ターミナルを開こう



ターミナル画面は開けましたか?

```
ターミナル - zsh - 80x24

Last login: Sat Oct 3 14:55:40 on console
[koji@UG-032-KOJIYAMAOKA] ~
%
```

試しに入力してみよう

- \$ cd Desktop (Enter)
- \$ mkdir myVagrant (Enter)
- \$ cd myVagrant (Enter)

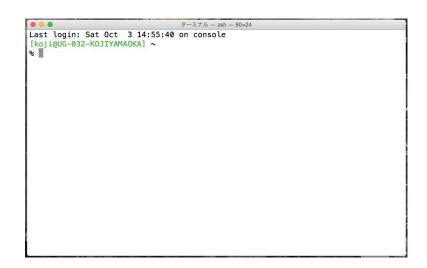
こんな感じになれば OK

```
ターミナル - zsh - 80×24
Last login: Sun Oct 4 14:00:02 on ttys000
[koji@UG-032-KOJIYAMAOKA] ~
% cd Desktop
[koji@UG-032-KOJIYAMAOKA] ~/Desktop
% mkdir myVagrant
[koji@UG-032-KOJIYAMAOKA] ~/Desktop
% cd myVagrant
[koji@UG-032-KOJIYAMAOKA] ~/Desktop/myVagrant
```

ターミナル(CLI)について学ぼう

CLI

GUI



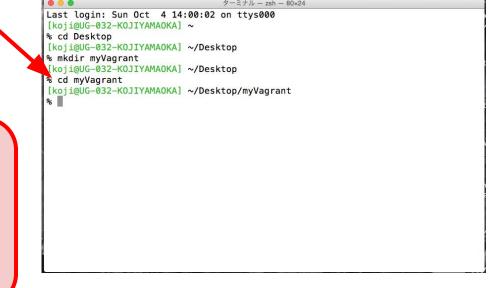


ターミナル(CLI)について学ぼう



vagrant add で OS Image を加えよう

\$ vagrant box add centos sinatra_package.box (Enter)



CentOS.box

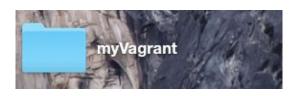
vagrant 上では box ファイルとして 設定情報を保存しておくことができる

vagrant init を実行してみよう

\$ vagrant init centos (Enter)

```
## STATE | Sun Oct | Sun
```

Vagrantfile ファイルを編集しよう





Vagrantfile ファイルを編集しよう

Vagrantfile 29行目

config.vm.network "private_network", ip: "192.168.33.10"



Vagrantfile 29行目

config.vm.network "private network", ip: "192.168.33.10"

vagrant up で仮想サーバを起動してみよう



こんな表示が出れば OK!!

```
~/Desktop/myVagrant/ vagrant up
Bringing machine 'default' up with 'virtualbox' provider...
==> default: Clearing any previously set forwarded ports...
==> default: Clearing any previously set network interfaces...
==> default: Preparing network interfaces based on configuration...
    default: Adapter 1: nat
==> default: Forwarding ports...
    default: 22 => 2222 (adapter 1)
==> default: Booting VM...
==> default: Waiting for machine to boot. This may take a few minutes...
    default: SSH address: 127.0.0.1:2222
    default: SSH username: vagrant
   default: SSH auth method: private key
    default: Warning: Connection timeout. Retrying...
==> default: Machine booted and ready!
==> default: Checking for guest additions in VM...
    default: The quest additions on this VM do not match the installed version of
    default: VirtualBox! In most cases this is fine, but in rare cases it can
    default: prevent things such as shared folders from working properly. If you see
    default: shared folder errors, please make sure the quest additions within the
   default: virtual machine match the version of VirtualBox you have installed on
   default: your host and reload your VM.
    default:
   default: Guest Additions Version: 4.2.12
    default: VirtualBox Version: 4.3
==> default: Mounting shared folders...
    default: /vagrant => /Users/koji/Desktop/myVagrant
==> default: Machine already provisioned. Run `vagrant provision` or use the `--provision`
==> default: flag to force provisioning. Provisioners marked to run always will still run.
```

これで完了です。完了なんです。

おめでとうございます、貴方用の仮想サーバが立ち上がりました!! あっという間すぎて、何が起きたの?という感じだと思うので解説します。

仮想サーバ起動の流れ

\$ vagrant init

• Vagrantfile ファイルを作成

\$ vagrant up

Vagrantfile に基づいて、仮想コンピュータを構築する





サーバ仮想化



32

サーバ仮想化



33

サーバ仮想化(SSHアクセス)



vagrant ssh で仮想サーバに接続しよう



vagrant ssh で仮想サーバに接続しよう



※ ssh (接続)とは?

安全性の高い通信形式、及びその方法。これがあると遠隔のコンピュータ(サーバ)に安全にアクセス出来て、操作することが可能となります。

目次

仮想サーバを構築しよう

Sinatra でサーバサイドプログラミング

iPhone アプリと連携しよう

Ruby に触れてみよう!

Rubyとはまつもとゆきひろ氏によって作成されたプログラミング言語。

可読性(読みやすさ)を重視した構文となっており、 Ruby においては整数や文字列なども含め データ型はすべてがオブジェクトであり純粋なオブジェクト指向言語といえる。

ここでは、Ruby を用いて Sinatra を動かす前に、 この Ruby にも少し触れてみたいと思います。



Ruby のバージョンを確認しよう

\$ ruby -v (Enter) ruby 2.0.0p647 (2015-08-08 revision 45883)

ターミナル 「ruby -v」と入力して、返答が返って来れ ばインストールされているので、先に進み ましょう。 Last login: Sat Oct 3 14:55:40 on console
[koji@UG-032-KOJIYAMAOKA] ~
%

ターミナル - zsh - 80×24

Ruby プログラムを動かしてみよう

Sublime Text File Edit Selection Find View Goto Tools Project Window Help ファイル名: myFirstRuby.rb puts "Hello World" ruby myFirstRuby.rb Enter) Last login: Sat Oct 3 14:55:40 on console [koji@UG-032-KOJIYAMAOKA] ~

Sinatra で webサーバを立ち上げよう

Sinatra とは

Sinatra とは Ruby で動く Web アプリケーションフレームワーク

Sinatra とは

Sinatra とは Ruby で動く Web アプリケーションフレームワーク

他の Web アプリケーションフレームワークとして、Ruby on Rails があげられるが、Ruby on Rails に比べて簡易で軽量であることがメリット

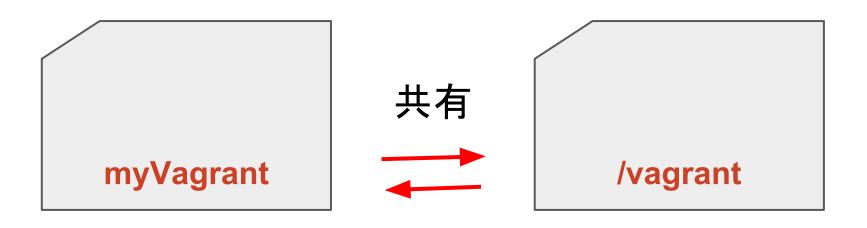


Sinatra を実行しよう

※ CentOS サーバへのアクセス
vagrant ssh (Enter)

※ vagrant フォルダへのアクセス
cd /vagrant (Enter)

/vagrant フォルダについて

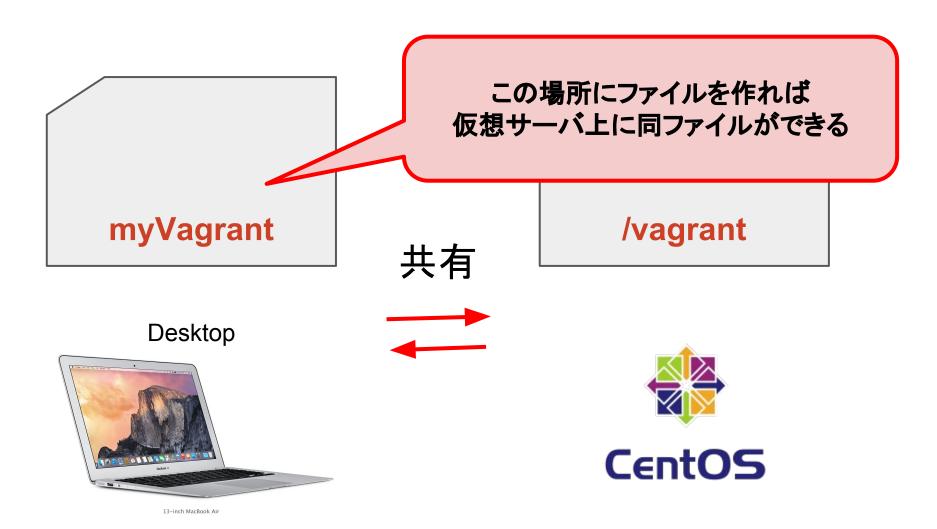


Desktop





/vagrant フォルダについて



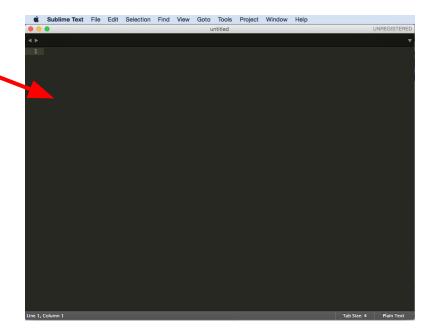
ファイル名: myapp.

require 'rubygems' require 'sinatra'

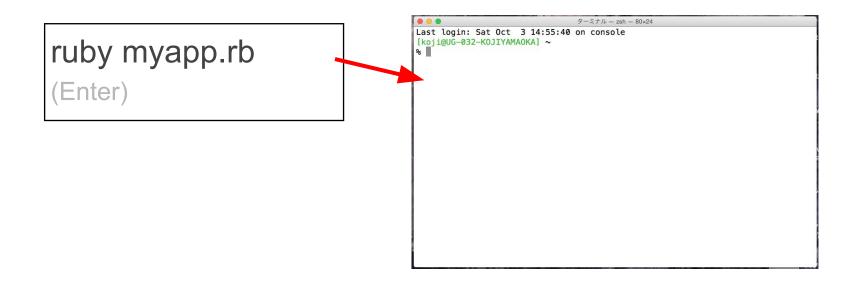
set :environment, :production

set :port, 8080

get '/' do
'Hello world!'
end



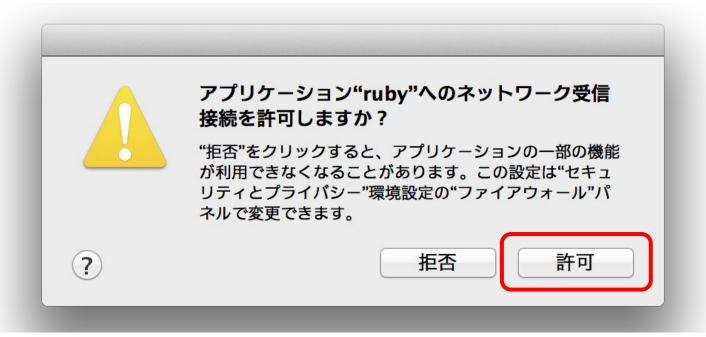
Sinatra を実行しよう



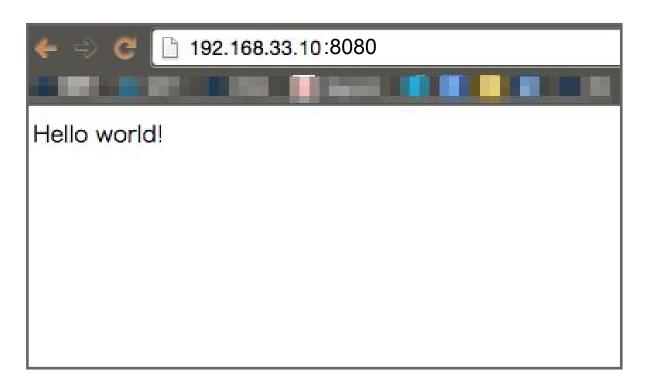


ブラウザ_から実行

Sinatra ファイルを実行してみよう



Sinatra ファイルを実行してみよう





ブラウザ から実行

Sinatra ファイルを実行してみよう

VagrantFile

```
# Create a private network, which allows host-only access to the machine
# using a specific IP.
config.vm.network "private_network", ip: "192.168.33.10"
30
```



ファイル名: myapp. rb

require 'rubygems' require 'sinatra'

set :environment, :production

set :port, 8080

get '/' do

'Hello world!'

end

この Ruby プログラムで必要な モジュール* の読み込み

ファイル名: myapp.

rb

require 'rubygems' require 'sinatra'

set :environment, :production

set :port, 8080

get '/' do

'Hello world!'

end

環境を設定 ポート番号* を 8080 に設定

ファイル名: myapp.

rb

require 'rubygems' require 'sinatra'

set :environment, :production

set :port, 8080

get '/' do

'Hello world!'

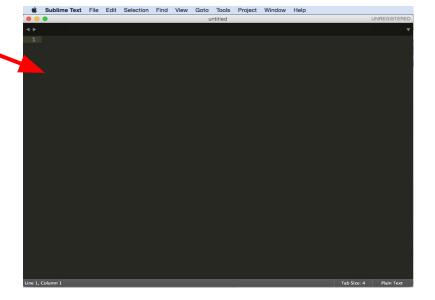
end

アクセスされたら Hello world!

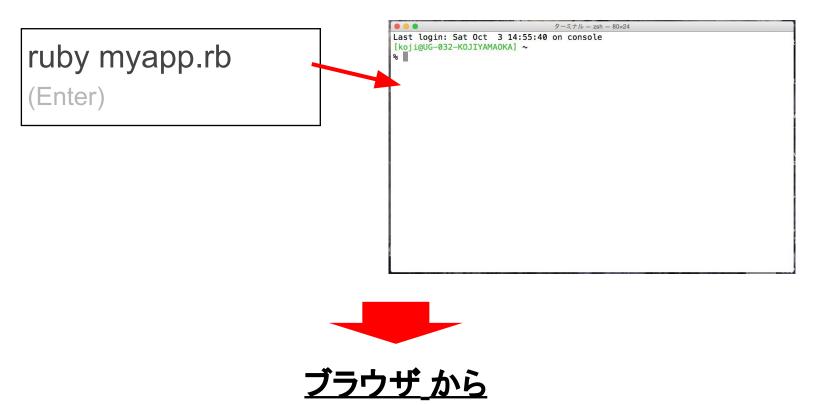
アドレスの入力の一部を返せるようにしよう

ファイル名: myapp.rb

```
get '/' do
end
get "/hello/:name" do |n|
 greeting = "#{n}"
end
  END
# テンプレート
@@index
<html>
<head><style>body{font-size:64px}</style></head>
<body>
<%= greeting %><br>
</html></body>
```



Sinatra を実行しよう



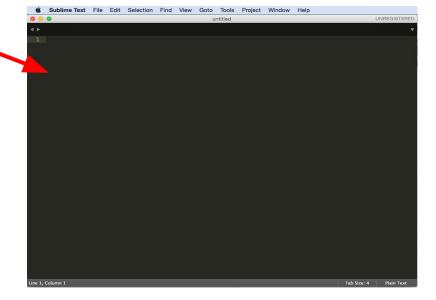
「http://192.168.33.10:8080/hello/takashi」にアクセス

できたら、takashi の部分を 自分の名前に変えて試してみましょう!

アドレスの入力に応じて返す内容を変えてみよう

ファイル名: myapp.rb

```
get "/morning" do
     "good morning"
end
get "/noon" do
     "hello"
end
get "/evening" do
     "good evening"
end
 END
# テンプレート
@@index
<html>
<head><style>body{font-size:64px}</style></head>
<body>
</html></body>
```



Sinatra を実行しよう

ruby myapp.rb

(Enter)



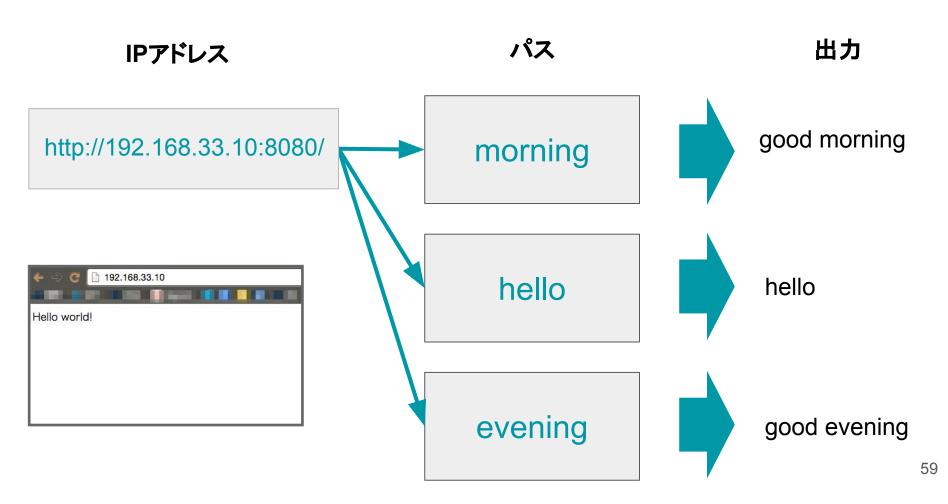
<u>ブラウザ</u>から

http://192.168.33.10:8080/morning http://192.168.33.10:8080/noon http://192.168.33.10:8080/evening

にアクセス!

ルーティング

アドレスの入力によって出力の場合分けを行うこと



データ連携のイメージ(1)

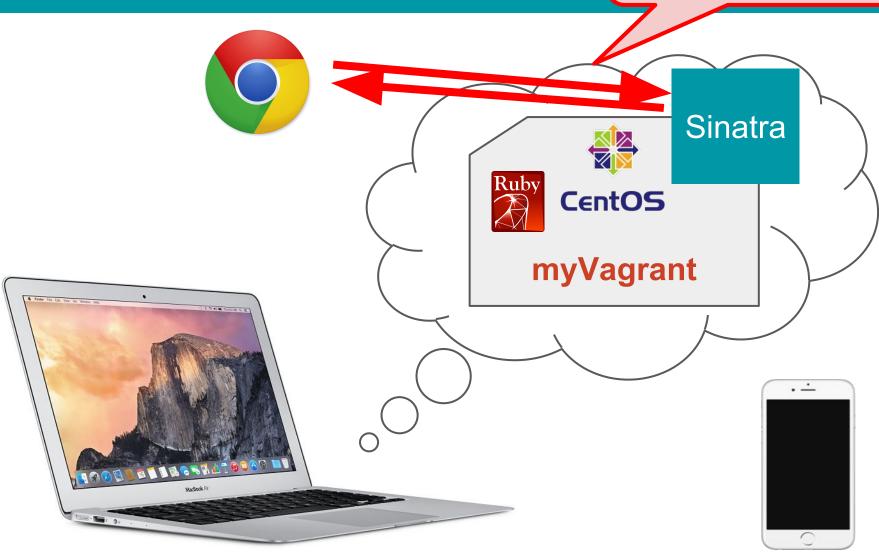


データ連携のイメージ(2)

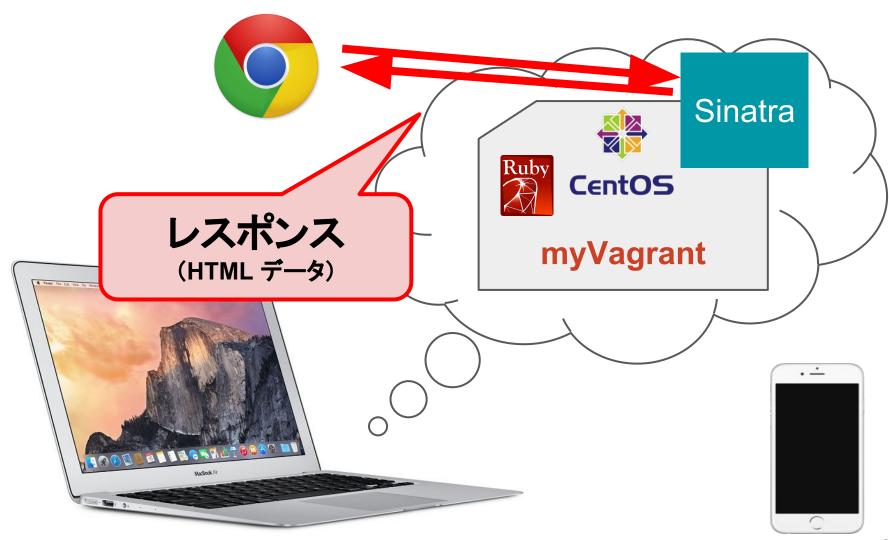


データ連携のイメージ(3)

リクエスト



データ連携のイメージ(4)



目次

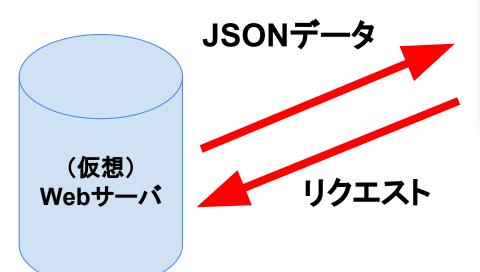
仮想サーバを構築しよう

Sinatra でサーバサイドプログラミング

iPhone アプリと連携しよう

iPhone アプリと連携しよう!

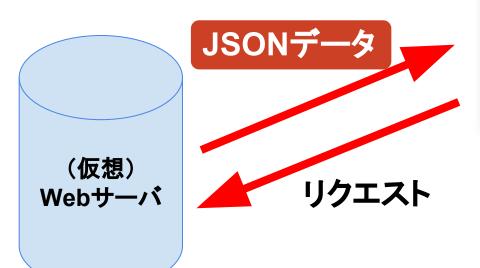
次に、今回作成したこの 仮想 Web サーバからデータを取得して、 iPhone 上に表示させるという処理を 実装させてみます!

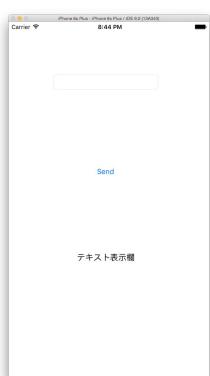




iPhone アプリと連携しよう!

次に、今回作成したこの 仮想 Web サーバからデータを取得して、 iPhone 上に表示させるという処理を 実装させてみます!





JSON とは何だ?

JSON とは JavaScript Object Notation の略で、XML などと同様のテキストベース, key-value 型のデータフォーマットのことです

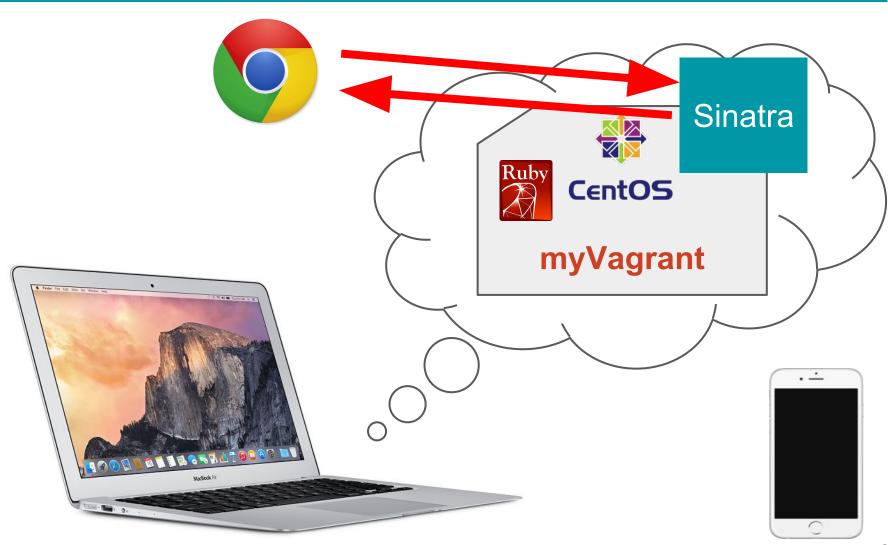
右図のような形で記載されています。

```
{
  data: {
    id: 1,
    title: "myTitle",
    contents: "todayContents"
  }
}
```

JSON = key-value 型 のデータ

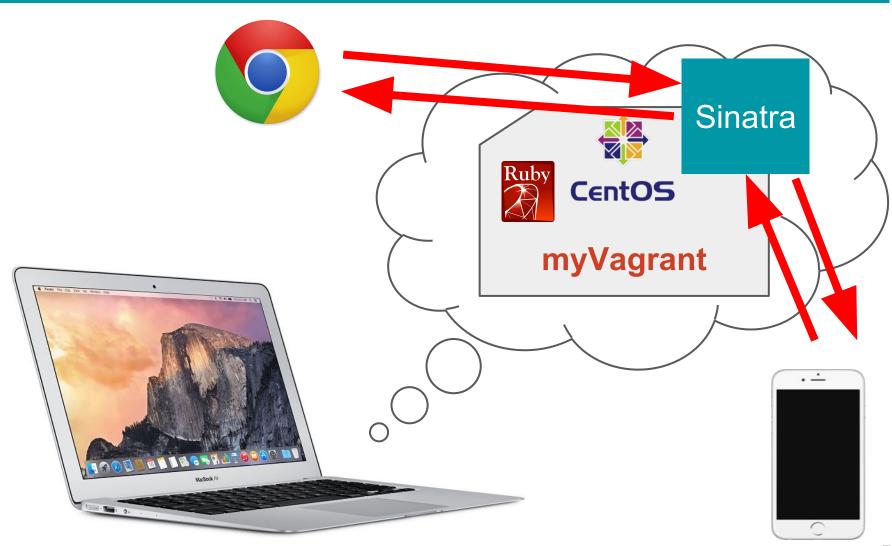
```
key ... データを紐ずける鍵の名前
        data.
         title "myTitle",
         contents "todayContents"
value ... 鍵によって紐付けられたデータの中身
```

データ連携のイメージ(5)

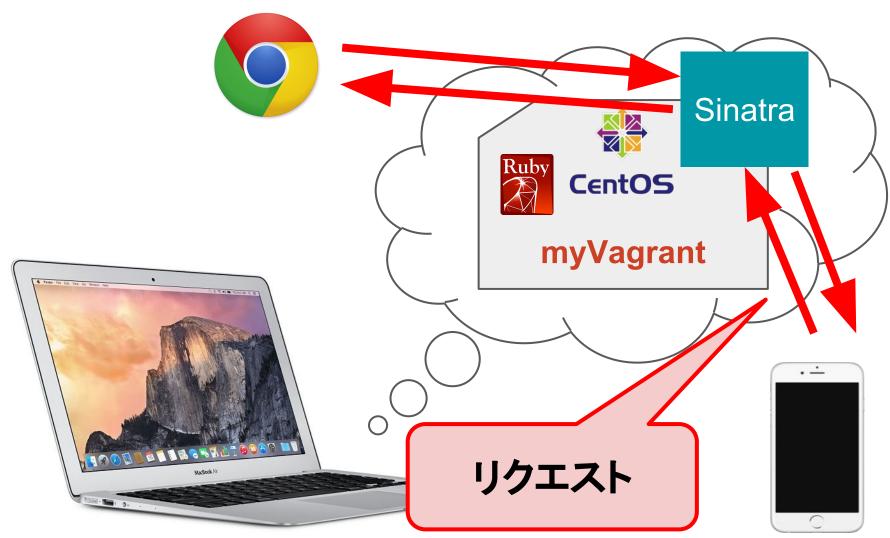


69

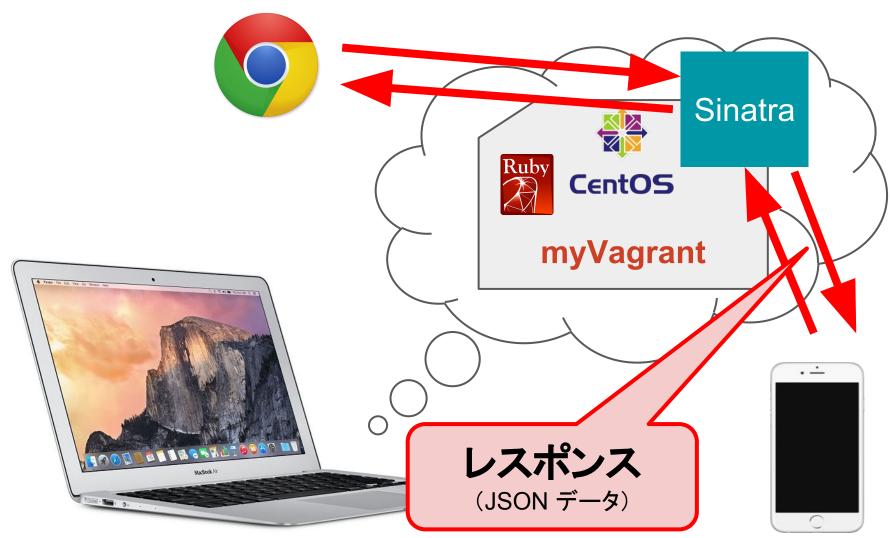
データ連携のイメージ(6)



データ連携のイメージ(7)



データ連携のイメージ(8)



API とは

API とは ざっくりと言ってしまえば ネットワークを超えた関数のようなものである

API とは

API とは ざっくりと言ってしまえば ネットワークを超えた関数のようなものである

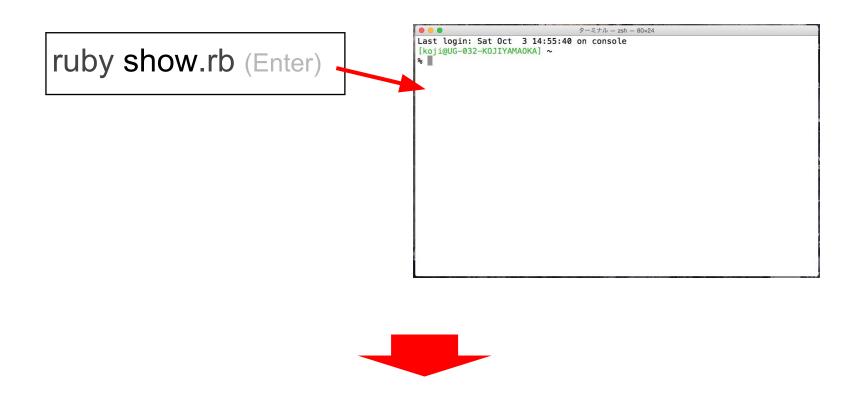
与えられたパラメータを基にそのパラメータに則した 値やオブジェクトをサーバが返答し、 クライアント(アプリ)側で扱うことができる

Sinatra から JSON を返せるようにしよう

ファイル名:show.rb

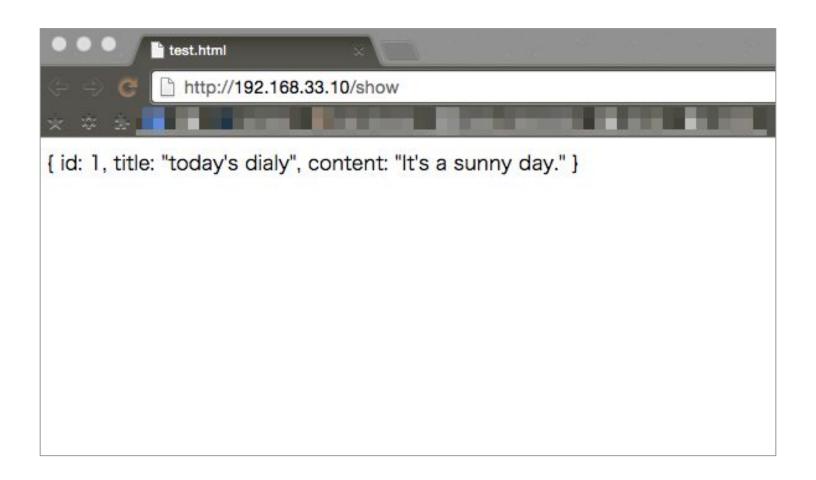
```
require 'json'
get '/show' do
 article = {
    id: 1,
    title: "today's dialy",
    content: "It's a sunny day."
 article.to_json
end
```

Sinatra を実行しよう



ブラウザ(http://192.168.33.10/show)から実行

JSON データが返ってきた事を確認しよう



JSON = key-value 型 のデータ

key ... データを紐ずける鍵の名前

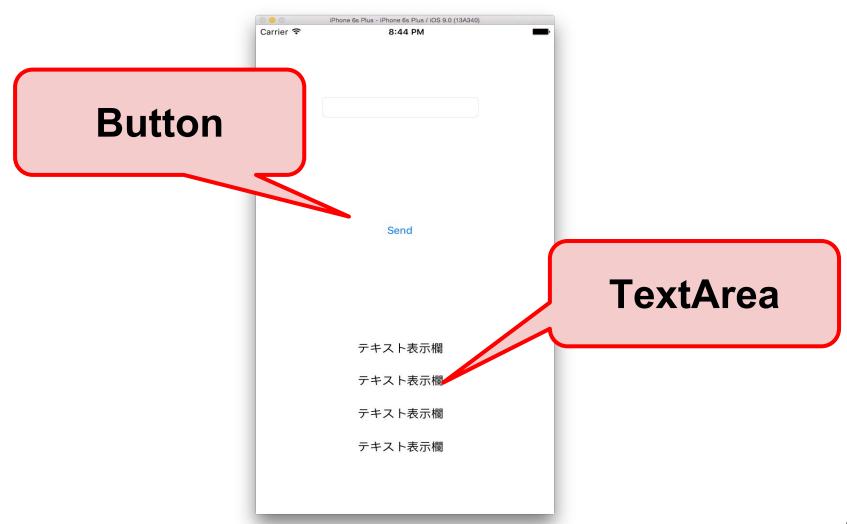
(id: 1, title: 'today's dialy", content (It's a sunny day.) }

value ... 鍵によって紐付けられたデータの中身

xcode で配布ファイルを開こう!



iPhone 側の

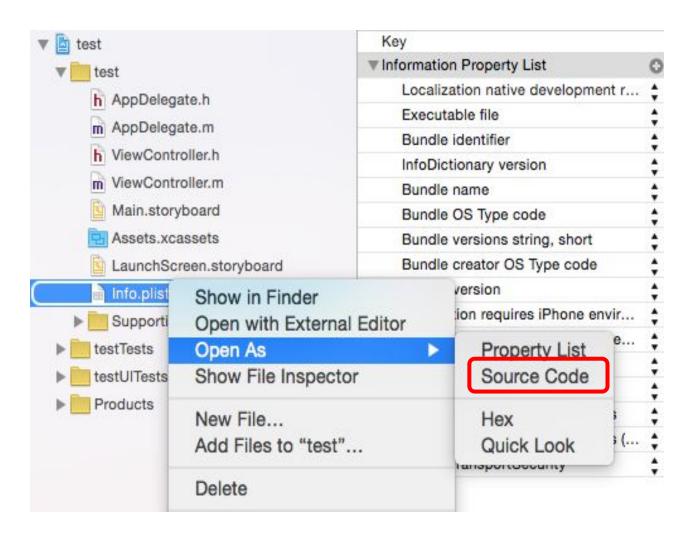


ヘッダファイルに StoryBoard と紐づける設定をしよう

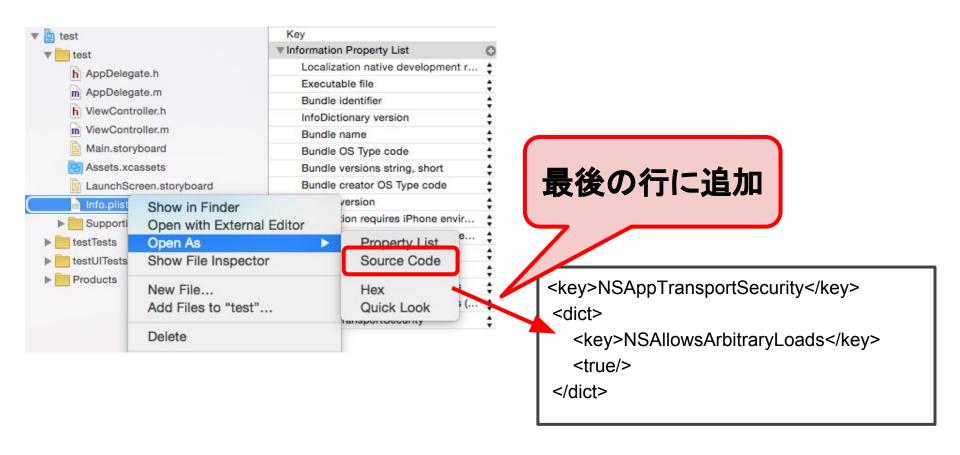
クライアント (iphone) 側: ViewController.h

```
// ViewController.m
// test
// Created by Koji on H27/09/22.
// Copyright © 平成27年 Koji. All rights reserved.
11
#import <UIKit/UIKit.h>
// StoryBoard に紐づける
@interface ViewController : UIViewController{
   weak IBOutlet UILabel *Label1;
   weak IBOutlet UILabel *Label2;
    weak IBOutlet UILabel *Label3;
   weak IBOutlet UILabel *Label4;
- (IBAction)tap:(id)sender;
@end
```

HTTP 通信を許可しよう



HTTP 通信を許可しよう



こんな感じに記載すれば OK

info.plist

ViewController.m に次のコードを加えよう!!

@implementation ViewController

```
- (IBAction)tap:(id)sender{
  NSString *url = [NSString stringWithFormat:@"http://192.168.33.10:8080/show"];
  NSURLRequest *request = [NSURLRequest requestWithURL:[NSURL URLWithString:url]];
  NSData *json_data = [NSURLConnection sendSynchronousRequest:request returningResponse:nil error:nil];
  NSArray *array = [NSJSONSerialization JSONObjectWithData:json_data_options:
NSJSONReadingAllowFragments error:nil];
  NSLog(@"%@ %@ %@", [array valueForKeyPath:@"id"], [array valueForKeyPath:@"title"], [array
valueForKeyPath:@"content"]);
  Label2.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"id"]];
  Label3.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"title"]];
  Label4.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"content"]];
```

ViewController.m

@implementation ViewController

. . .

```
- (IBAction)tap:(id)sender{
    NSString *url = [NSString stringWithFormat:@"http://192.168.33.10:8080/show"];
    NSURLRequest *request = [NSURLRequest requestWithURL:[NSURL URLWithString:url]];
```

NSData *json_data = [NSURLConnection sendSynch nour

NSArray *array = [NSJSONSerialization JSONObjectWith NSJSONReadingAllowFragments error:nil];

NSLog(@"%@ %@ %@", [array valueForKeyPath:@"id"], valueForKeyPath:@"content"]);

API の リクエストURL を設定

```
Label2.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"id"]];
Label3.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"title"]];
Label4.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"content"]];
...
```

ViewController.m

@implementation ViewController

...

- (IBAction)tap:(id)sender{
 NSString *url = [NSString stringWithFormat:@"http://192.168.33.10:80
 NSURLRequest *request = [NSURLRequest requestWithURL:[NSURL URV

*API レスポンス を受け取りJSONデータへ

aing:url]];

NSData *json_data = [NSURLConnection sendSynchronousRequest:request returningResponse:nil error:nil];

NSArray *array = [NSJSONSerialization JSONObjectWithData:json_data options: NSJSONReadingAllowFragments error:nil];

NSLog(@"%@ %@ %@", [array valueForKeyPath:@"id"], [array valueForKeyPath:@"title"], [array valueForKeyPath:@"content"]);

```
Label2.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"id"]];
Label3.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"title"]];
Label4.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"content"]];
```

ViewController.m

@implementation ViewController

...

- (IBAction)tap:(id)sender{
 NSString *url = [NSString stringWithFormat:@"http://192.168.33.10:8080/show
 NSURLRequest *request = [NSURLRequest requestWithURL:[NSURL URLY

JSON data を 受け取り配列へ

NSData *json_data = [NSURLConnection sendSynchronousRequest:reg

NSArray *array = [NSJSONSerialization JSONObjectWithData:json_data options: NSJSONReadingAllowFragments error:nil];

NSLog(@"%@ %@ %@", [array valueForKeyPath:@"id"], [array valueForKeyPath:@"title"], [array valueForKeyPath:@"content"]);

```
Label2.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"id"]];
Label3.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"title"]];
Label4.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"content"]];
```

ViewController.m

@implementation ViewController

...

- (IBAction)tap:(id)sender{
 NSString *url = [NSString stringWithFormat:@"http://192.168.33.10:8080/shows the content of the conten

NSData *json_data = [NSURLConnection sendSynchronousRequest:re/

NSArray *array = [NSJSONSerialization JSONObjectWithData:json NSJSONReadingAllowFragments error:nil];

配列の各要素をコンソールへ表示

da options

NSLog(@"%@ %@ %@", [array valueForKeyPath:@"id"], [array valueForKeyPath:@"title"], [array valueForKeyPath:@"content"]);

```
Label2.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"id"]];
Label3.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"title"]];
Label4.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"content"]];
...
```

ViewController.m

@implementation ViewController

. . .

(IBAction)tap:(id)sender{
 NSString *url = [NSString stringWithFormat:@"http://192.168.33.10:8080/NSURLRequest *request = [NSURLRequest requestWithURL:[NSURL U

NSData *json_data = [NSURLConnection sendSynchronousRequest:requ

NSLog(@"%@ %@ %@", [array valueForKeyPath:@"id"], [array valueForKeyPath:@"content"]);

JSON データの 各 key に対する value を 文字列型に変換して表示

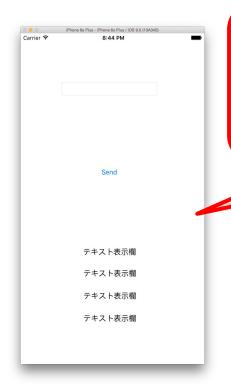
```
Label2.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"id"]];
Label3.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"title"]];
Label4.text = [NSString stringWithFormat:@"%@",[array valueForKeyPath:@"content"]];
```

. . . .

iPhone 側から実行してみよう!

<u>シュミレータ</u>から実行!





ボタンを押して各key に対する value が表示されるようになれば ゴール!!

今回はここまで!

今回やったことの復習(概要)



今回やったことの復習(概念1)

仮想化 is ...

今回やったことの復習(概念1)

仮想化 is <u>SIPC</u> の作成

今回やったことの復習(概念2)

今回やったことの復習(概念2)

サーバis

要求に応えるコンピュータ

今回やったことの復習(概念2)

サーバis

データの Serve(提供)専用のコンピュータ

おまけ

インターネット上に公開するには(1)

インターネット上に公開するには大まかに3ステップの処理が必要です

- 1. Web サーバ(CentOS等)をレンタル
- 2. 遠隔操作(SSH接続)する
- 3. サーバの設定する
- ※ 月数百円程度で利用することができます。

静的なWEBページはファイル転送ソフトを用いれば直ぐに配置・閲覧できますが、サーバサイドの処理を行うにはサーバを自身でカスタマイズする必要があります

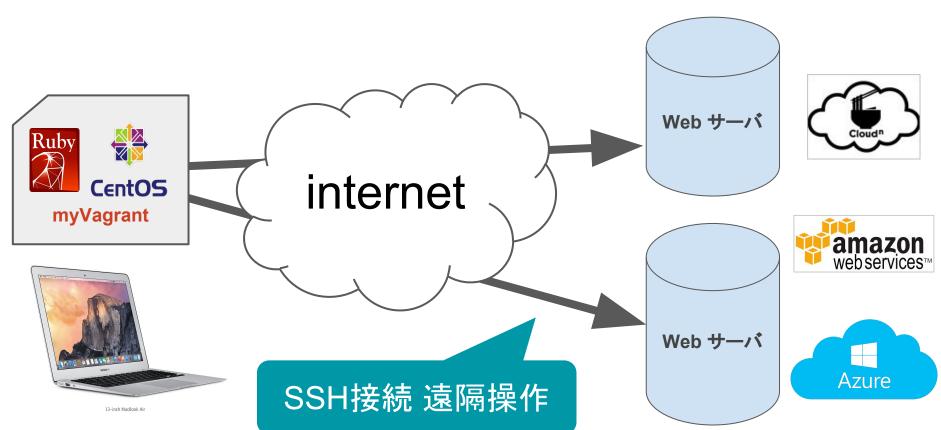


AWSの最新情報はこちらっ

インターネット上に公開するには(2)

安全性の高い通信方法である SSH で Webサーバに遠隔で環境の設定、及び、自分のPC内で作成したファイルを転送することが可能となります。





参考資料(1)

Sinatra + Active Record + SQLite3で、軽量なWeb-DB連携例

https://tamosblog.wordpress.com/2012/10/26/sinatra/

Sinatra+ActiveRecord+MySQLで、簡単APIサーバ構築

http://qiita.com/u1_fukui/items/88c10d4d530ec6fbaaa1

Sinatraで簡易APIサーバーを作ってみた

http://dev.classmethod.jp/server-side/ruby-on-rails/sinatra make api server/

【初心者向け】RubyとSinatra、アンテナサイトの作り方

http://shgam.hatenadiary.jp/entry/2013/08/25/160937

参考資料(2)

Sinatra README

http://www.sinatrarb.com/intro-ja.html

Sinatraの使い方あれこれ

http://giita.com/weed/items/7c83a795e37bdf52cfef

仮想環境構築ツール「Vagrant」で開発環境を仮想マシン上に自動作成する

https://osdn.jp/magazine/15/02/13/200000

VagrantでWEBアプリ実行環境構築

http://qiita.com/dahugani/items/a5eca25e6173331951d7

参考資料(3)

Vagrant+VirtualBox(CentOS)でRuby開発環境を作った時のメモ

http://blogssom.net/post/12

Vagrant で自分の PC に「作って、壊して、元に戻せる」サーバを作る

http://www.1x1.jp/blog/2013/03/vagrant.html

Objective-CでJSON取得して表示する方法

http://qiita.com/drapon/items/859473840211f0ac1552

iOSでWebAPIからJSONを取得

 http://inter-arteq.com/ios%E3%81%A7webapi%E3%81%8B%E3%82% 89json%E3%82%92%E5%8F%96%E5%BE%97/